

# 西府崖線保全活動

～後世に残そう！ ハケと湧水～

## 第1回清掃活動行われる

- 平成23年11月23日(水) 晴
- 清掃活動 / 10:00～11:30
- 茶話会 / 11:30～12:00

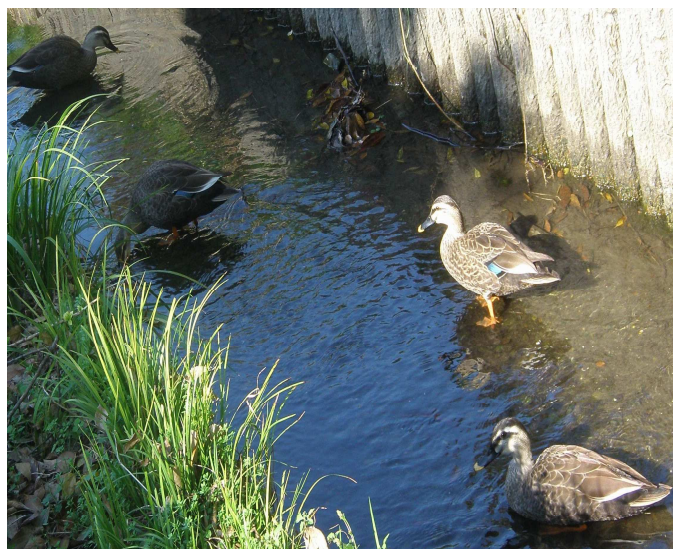
- 参加者 13人(市民の参加は3人)
- 1班一本宿トンネル方面～ハケ上から湧水池
- 2班一大山道まで用水ぞい



清掃終了後、あずまやでゴミ袋を前に全員集合



大山道手前の府中用水で、長トングとゴミ袋を手に用水のなかをジャブジャブ



ゴミ拾い中、西府わき水近くの陽だまりで、羽を休ませているカルガモ



# 11・23 いっせい清掃行

—ペットボトル 発泡スチロール 陶器 衣類 紙おむつ等多数—



ハケ上の西府文化センター前

昨年11月23日(水)午前10時～12時まで、西府崖線保全チームが主催して市民の方々と清掃活動を行った。参加者13人。西府崖線ハケ下のあずま屋前を起点として、1班は本宿トンネル方面からハケ上の西府文化センター前を通って湧水池まで。同じく2班は、大山道までの用水ぞいを清掃した。

この件に関する詳しい報告は、チームリーダーの浅田多津子が「府中かんきょう市民の会」会報の7面(2012年1月11日発行)に寄稿しているのでは是非ごらんください。

## 第2回清掃活動

なお、次の清掃活動は今年の6月頃を予定している。

## 参加者の感想 “一心不乱にゴミ集め”

- ・12、3年前はものすごく汚れていた記憶あり、今日はそのことが頭にあったので参加した。このところきれいになったと思っていたが、結構ゴミはあった。
- ・燃えないゴミが多い。ビンや陶器のかけらが崖の中腹に沢山あった。生活用品ゴミが多い。
- ・ゴミを見つけて拾い集めるとうれしくなった。「こんにちは」の挨拶に「ありがとう」や「ご苦労さま」の言葉が返ってきた。
- ・1年を通して通水できれば生きものもふえるのではないだろうか。
- ・用水路のなかを長靴であるいた。カワニナやシジミの貝殻をみつけた。たくさんいたザリガニはどこにいったのだろうか、季節ごとの変化をみておくのも必要ではないかetc



集めた大量のゴミの一部

## 今後の活動方針

昨年、今までの活動を振り返り、チームを再編していくつかの活動をしてきた。わき水まつり、市民懇談会、清掃活動、ビラの発行などである。それに7年間続けている湧水調査活動もある(左写真/西府わき水 昨年12月5日)。今年はそれに加えて学習会、樹木などへの名札付け作業、近隣小・学童クラブなどへの環境学習プログラムの提案も視野にいれている。(葛西利武)



水量測定と水質検査

NPO法人・府中かんきょう市民の会

2012年2月1日(水) No.2

担当 浅田多津子 進藤礼治郎

TEL042-351-8190